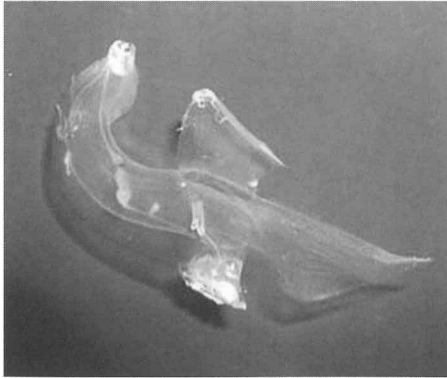




# 何でも魚<sup>うお</sup>ツチング

## No.63 『 珍種「ゾウクラゲ」 』

～ゾウクラゲ～  
ゾウクラゲ科の海が寒い  
網物の総が透明で、細長く  
足動物の総が透明で、細長く  
軟体の巻き泳ぐ。体は細長く  
小天名がある。50センチメートル  
全長2。うちわ状の遊泳足  
で泳ぐ。暖・熱帯水域  
に分布。



「ゾウクラゲ」の仲間  
(写真提供：鶴岡市立加茂水族館)

6月10日に鼠ヶ関沖で遊漁船が珍種「ゾウクラゲ」の仲間を採取し、鶴岡市立加茂水族館に届けました。熱帯から温帯の海に生息して、日本海側では対馬暖流に乗って山口県沖でたまに見られますが、山形県では非常に珍しい生物です。

長く突き出した口が象の鼻を連想させゾウクラゲの名がついています。

この「ゾウクラゲ」、名前はクラゲですが実はクラゲの仲間ではありません。詳しい分類は「軟体動物門・腹足綱・前鰓亜綱・中腹足目・ゾウクラゲ科」で、軟体動物門・腹足綱は貝の仲間です。軟体動物の仲間では海底に固着したり(例えばイワガキ)海底を歩いたり(例えばアワビ)する多くの貝類とは異なり、終生浮遊生活を送ります。終生浮遊生活を送る仲間ではゾウクラゲと北の海の妖精と言われるクリオネが有名です。

珍しい生物を見つけた場合は、水産試験場(TEL 0235-33-3150)や加茂水族館(TEL 0235-33-3036)に一報ください。

### お知らせ

#### 1 大型クラゲの出現状況

今年の大型クラゲに関する情報についてお知らせします。7月3日の「大型クラゲ全国協議会」では、「過去に大型クラゲの大量出現が見られた平成17・18年の状況と酷似している、6月30日には対馬の定置で確認された、対馬を抜けてその後は海流の動きによって沿岸の漁業被害が懸念される、情報交換を密にして素早い対応をお願いしたい」との注意喚起がありました。

水産試験場では、今後の来遊状況については別途情報をお知らせいたしますので、注意願います。

#### (参考)

##### 出現状況(7月4日現在)

長崎県(対馬)の定置網で本格的な出現となりつつあります。サイズは30cm以下で、1網当たり数100～1000個の単位です。

#### (情報)

(社)漁業情報サービスセンターの以下のホームページで最新情報を見ることができます。

<http://www.jaifc.or.jp/kurage/index.html>

#### 2 水温観測ブイ情報(6月17日より)

今年も由良沖(白山島由良定置の沖側)に水温観測ブイを(社)漁業情報サービスセンターが設置しました。水深1、10、20mの水温情報をパソコンと携帯からリアルタイムで見ることが出来ます。ぜひご利用ください。

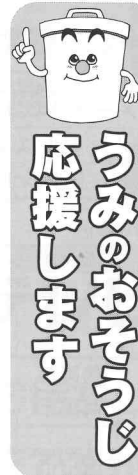
#### パソコンから

[http://www.jaifc.or.jp/ocean\\_buoy/](http://www.jaifc.or.jp/ocean_buoy/)

#### 携帯から

[http://www.jaifc.or.jp/ocean\\_buoy/m/index.html](http://www.jaifc.or.jp/ocean_buoy/m/index.html)

山形県水産試験場 海洋資源部 石向 修一



網にかかったごみの処分費助成します

海面や海底など、海の中にある所有者不明のごみ。操業中にみなさんの網に引っ掛かったことはありませんか。

「海と渚環境美化推進協会」では青い海・美しい渚を守るためにボランティアで浜の清掃活動や啓発活動をする団体に軍手・ごみ袋の購入や回収したゴミの処分に要した費用などを助成しています。

今年からは、操業中に網に引っ掛かったごみの処分費に対しても助成できるようにになりました。

是非この制度を活用してください。くわしくは協会事務局までお問い合わせください。

海と渚環境美化推進協会事務局  
(庄内総合支庁水産課漁業調整担当)  
電話 0234-24-6046